

中学2年 学年の時間 「自分の思い込みを疑う」

中学2年では「自分の思い込みを疑う」というテーマで全9回の授業を行っています。自分の思い込みが差別意識を生んだり、知らないうちに他人を困らせていたり、他人の苦しみに気づかずにさせていないか。もっと積極的に、そのような世界の様々な問題を解決するために自分に何ができるか、それを考え、将来の仕事にも結びつけていくことを目的とした授業です。

「障がいについて」「貧困について」「LGBTQについて」と三つの内容についてそれぞれ講師を招いて講演していただき、その事前学習・事後学習で学びを深めていきます。

「障がいについて」「LGBTQについて」では京都大学大学院の平沢直樹さんをお招きし、生徒自身が参加する寸劇や生徒の身近な問題を通して、まさに「自分事」として考えていきます。



今回(11月10日)の「貧困について」では、「国境なき子どもたち」の大竹綾子さんから、ご自身が支援活動을続けてこられたカンボジアやフィリピンを中心に、親に虐待を受けたり、捨てられたりしたストリートチルドレンの問題や、パキスタンでのジェンダー格差の問題など、自分たちと同年齢の子どもたちが、食べ物も教育も十分に受けられず、夢を持ってない状況に置かれていることをお話しいただきました。国境なき子どもたちでは「子ども一人ひとりが教育を受け、夢を描ける社会」「子ども一人ひとりが尊重され、安心して健やかに成長できる社会」「子どもたちが互いの違いを認め合い、友情を育み、共に成長できる社会」を目指しています。そのビジョンは誰もが共有して目指していかなければ、真に持続可能な社会を作ることはいけません。

自分たちが今学んでいることは、社会の様々な課題を解決していくためなのだという意識を持ち、常に社会の参画者の自覚を持って行動する生徒を育てていきたいです。